

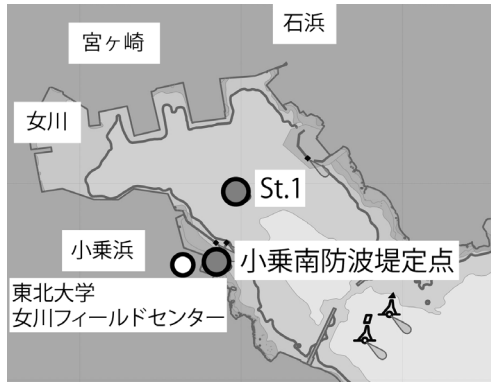
週刊 女川湾海況速報 (No.56)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

8 月 12 日から 23 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週（8 月 12 日）と比較して表層（0m）の水温は同程度の値（21～22℃台）を示したが、底層（5m）では上昇し、19～21℃台を示した。塩分は全層で上昇し、32～33 台を示した。経時的に水温は 20 日から 21 日にかけて全層で下降。塩分は 21 日に表層で 33.2 まで上昇したが、底層ではほぼ一定（33.0～33.1）で推移。先々週および先週と比較して全体的に塩分が高いことから、湾外からの低塩分水の侵入は弱まったと推定。

水深 [m]	8 月 12 日 (月)	8 月 19 日 (月)	8 月 20 日 (火)	8 月 21 日 (水)	8 月 22 日 (木)	8 月 23 日 (金)
0	21.9 (29.7)	22.2 (32.9)	21.0 (32.7)	21.1 (33.2)	22.7 (32.3)	22.3 (32.7)
5	19.1 (32.6)	19.7 (33.0)	19.4 (33.0)	19.4 (33.1)	21.0 (33.0)	20.5 (33.1)

水温の単位は℃。*12 日は水深 6m のデータを使用。

②濁度：先週と比較して表層で上昇したが、底層では下降。経時的には底層で期間を通じて徐々に下降。（単位は FTU）

水深 [m]	8 月 12 日 (月)	8 月 19 日 (月)	8 月 20 日 (火)	8 月 21 日 (水)	8 月 22 日 (木)	8 月 23 日 (金)
0	0.4	0.5	0.8	0.6	0.7	0.6
5	1.6	1.3	1.1	1.4	0.9	0.8

③溶存酸素：先週と比較して全層で下降傾向にあったが、6～7mg/l 台を示した。経時的には底層で 20 日から 21 日かけて下降し、6mg/l 台を示した。

水深 [m]	8 月 12 日 (月)	8 月 19 日 (月)	8 月 20 日 (火)	8 月 21 日 (水)	8 月 22 日 (木)	8 月 23 日 (金)
0	8.6	7.1	7.2	7.0	7.4	7.4
5	7.1	7.2	6.5	6.6	7.1	7.1

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 18.4～20.8℃、32.9～33.5 の範囲にあった。濁度は 0.6～2.1FTU の範囲にあり、底層（19m）で最大。溶存酸素は 5.8～7.3mg/l の範囲にあり、水深 10m で最小。先々週（8 月 7 日）と比較して全層で塩分が上昇したことから、湾内の海水よりも塩分が高い外洋水が侵入したと推定。

8 月 21 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	20.8	32.9	0.6	7.3
5	19.4	33.1	0.7	6.9
10	18.8	33.3	1.1	5.8
15	18.7	33.4	1.6	6.0
19	18.4	33.5	2.1	5.9

本データの利用については、東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。